

# コトバカっ!



コトバカ  
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んで相川藍、下から読んで相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

きもちいいー!

大震災以降、多くのイベントが中止になった。安全性の問題、物資の不足、交通、節電、不謹慎。理由はいろいろだけど、その中で皆、できることをやっている。できることをやるしかない。言葉はせめて自由でありたい、と私は思う。

自称外人のデーブ・スペクター氏には励まされた。彼は震災の翌日、ツイッターでこうつぶやいた。「大好きな日本がまた笑顔で溢れる国になるよう、ボクは出来ることは何でもするつもり。ユーモアがあれば、辛い時でも電気を使わずに世の中を明るくすることが出来るから」。そうして日々、高度な日本語力を駆使した寒いギャグを連発しているのだ! 彼は今も3〜5語の日本語を覚えるのが日課なんだって。

新しい言葉を知るの楽しい。私が長年勉強しているのがイタリア語で、理由は舌にのせたときの快感。Cをシーではなくチと読むのがポイントで、シーディー(CD)はチーディーだし、シネマ(CINEMA)はチネマ、セレブ(CELEB)はチエレブ。何だかちつともセレブ感がないけど、そこがいい。

イタリア語のテキストは食べ物や恋愛の話が多く、とっつきやすいのも魅力だ。NHKのイタリア語講座ですら「わたしはあまり働かない」「わたしはたくさん食べる」「今晚、僕と出かけない?」「サラミはどこ?」など、脱力しそうな例文が多数。一方、アラビア語講座をチラ見するとこんなフレーズが目についた。「いつもこのライフル銃を使っているのですか?」「私は、家に10台の自動車を持っています」「車庫には2台の高級車があります」「うーん、これはこれで勉強してみたいなと思わせるものがありますね。」

あいさつの言葉でいちばん好きなのはイタリア語の「チャオ!」だけど、日本語にも似た言葉があることに気がついた。「こんにちは」から派生した「ちーっす!」というアレ。可愛いし元気になるあいさつだと個人的には思っ。でも、お行儀悪いから、チエレブな人は使っちゃだめでちゅよ。

あいかわ あい ことばか  
相川 藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。